

信頼関係の上に成り立つ仕事

税理士法人 ゆびすい 税理士(保護者)

(前号からの続き)

3. 税理士の活躍の場

「税理士を取得したからには目標は独立開業」と考える人は多いですが、最近は組織で活躍する税理士も増えています。税理士の活躍の場は下記のように無限に広がっています。

①独立開業

税理士は、独立開業しやすい資格であることが魅力の一つです。独立開業すると、自由に仕事ができ、自分の努力で勝負できます。勿論、自分のスキルや営業力によって収入の差も出やすいですが、働いた分はすべて自分に返ってくる点も独立開業の大きな魅力だともいえます。

②中小税理士事務所勤務

将来的に独立を考えている人の場合、会計・税務の実務経験を積むために、まず税理士事務所で3~5年修業するのが一般的です。2~3科目合格していれば、採用の対象となり、事務所で働きながら合格を目指す人も多いです。独立せずに、所長とともに事務所を拡大していく道もあります。

③大手税理士法人勤務

税理士法人の創設が認められたことで、税理士の可能性は更に広がりました。税理士法人と税理士事務所の大きな違いは、支店を置くことができることです。全国各地に支店を置いて大規模に展開することも可能になってきます。税理士法人では、多くの税理士がコンサルティングや国際税務などの業務で活躍しています。企業勤務でありながら、税理士として高い専門性と組織力を活かし、規模の大きい仕事に携わることができる職場です。

④一般企業勤務

一般企業の経理・財務部門等で働く場合は、日常的な経理・財務業務に加えて、財務諸表の作成や税務申告書類の作成などを担当することになります。

⑤金融機関勤務

銀行などの金融機関で働く人が税理士を目指すケースも多いです。融資担当なら、融資先の経営状況の分析や経営改善のためのコンサルティングにも活かすこともでき、一般企業よりも複雑な金融機関の経理・財務業務に活かすこともできます。

⑥コンサルティング会社勤務

会計系コンサルティングファームの税理士法人だけではなく、戦略系・金融系のコンサルティング会社で活躍する税理士も少なくありません。ただし、会計・税務以外の知識・スキルも求められる業種ですので、金融機関や大手企業でキャリアを積み、そこに税理士資格を加え転職するケースが多いです。

4. 税理士に必要な能力

税理士にとって一番重要なことは、顧客と信頼関係を築くことです。顧客は自分に会社や自分の個人の財務状況という他人には、知られたくないことを私たち税理士にオープンにします。当然、信頼関係があってのことです。また、それ以外にも専門以外のこと、プライベートなことについても、相談を受けます。私は、そういう相談を受けた時でも、自分はそれだけ信頼されていると思うどんな相談でもできるだけ乗るようにしています。こういった、信頼関係を築くということは一長一短

には上手くいきません。

日ごろから、コミュニケーションを取ることが大事です。ですから、税法の勉強も大切ですが、コミュニケーション能力を磨くことが大事です。自分は口下手だからとか、人見知りするという人もおられると思います。しかし、それを乗り越えなければ、信頼関係は構築できません。

もちろん、顧客のことに関する情報の漏洩にも気をつけなければなりません。喫茶店などで不用意に顧客の経営情報などを友達に話してしまうと、周りで聞いていた人から情報が漏洩し、倒産に陥るようなことにもなりかねません。

また、担当する顧客はほとんどが年長の方です。やはり、最低限の常識、マナーや言葉遣いも当然身につけておいた方がよいでしょう。

それと、この仕事を選ぶ限り、資格を取った後も勉強が必要です。税法は毎年のように改正されます。10年前の知識が全く通用しないということもあります。いつまでも、初心のつもりで常に研究心を持って欲しいと思います。

5. 税理士としてのやりがい

普通の企業に就職すればおそらく、出会える人の範囲はある程度限られてきますが、税理士という職業の場合、いろいろな業種の人と出会うことができます。製造業、小売業、卸売業、飲食業、サービス業、マスコミ関係、教育関係。そして、いろいろな人の考え方や、情熱に接することができます。そういう経験を積んで自分自身も成長していける、そんな職業だと思います。

そして、そのいろいろな業種の顧客に、税務や会計に関する最良のアドバイスや提案を行えるのは税理士ならではの仕事だと思います。顧客の発展に役立つことができ、感謝されるときが一番やりがいを感じる時です。

もし、税理士になりたいと思う人は、なるべく大学生

のうちから勉強を始めてください。そして、大学卒業時にどこかに就職して、働きながら税理士の勉強をされることをお勧めします。税理士業界で新卒を採用するところは、ごくわずかですが、大阪では私の勤務する税理士法人以外にも何社かあります。もちろん、税理士業界以外の金融機関や一般企業に就職しても、税理士として活躍する際に役に立ちます。資格を取るまで就職しないという方がおられますが、経済情勢が悪い昨今、資格を取ったからといって就職できるとは限りません。

今、採用の担当もしていますので、アドバイスをすると、大学2回生の6月までに日商簿記2級に合格して、9月から専門学校に通うなどして、3回生の8月の税理士試験に向けて勉強してください。卒業までに簿記論と財務諸表論に合格できればいいでしょう。欲を言えば、税法科目を1科目ぐらい学生の間合格するか、一通り勉強しておけばベストです。1・2回生の間は、税理士試験の勉強だけに集中せずに、サークル活動やアルバイト、旅行など学生でないといけないことも経験しておいてください。税理士試験の勉強を頑張れる学生は、うまく時間を捻出して、いろんなことにチャレンジし、学生時代に誇れる何かを持っています。

顧客の発展のために役立つという情熱と使命感を持った方に私たち税理士の仲間入りをしてほしいと思います。

Navi委員会からの質問

Q1. 高校時代は文系、理系、その他の課程に属していましたか？

A1. 文系でした。

Q2. その職業に就くことを決意したのはいつですか？

A2. 興味を持ったのは高校3年のときで、本気で目指そうと思ったのは大学2年生です。

